

## 【万葉古代学研究彙報】（平成 26 年 2 月～平成 26 年 12 月）

平成 25 年度

- （ 1 月 17 日 井上研究員が、奈良県ならの魅力創造課主任研究員（兼務）に就任（任期：平成 26 年 12 月 31 日）。 ）
- 2 月 1 日 第 57 回万葉古代学講座で、竹本晃主任研究員（以下、竹本研究員と略す）が「『豊後国風土記』と大和王権」と題して講演。
- 2 月 7 日 京西公民館主催の女性セミナー「文学学習 万葉集のお話」（会場：京西公民館）において、井上さやか主任研究員（以下、井上研究員と略す）が講演。
- 2 月 9 日 奈良交通共催歴史講座「飛鳥歴史紀行—日本のはじまりを訪ねる旅」第 11 回で、小倉久美子主任技師（以下、小倉技師と略す）が「古代を彩る女性たち」と題して講座。  
奈良市生涯学習財団主催の奈良学セミナー「知れば知るほど好きになる奈良」（会場：奈良市中部公民館）で、井上研究員が、西山厚氏（奈良国立博物館学芸部長）、馬場基氏（奈良文化財研究所主任研究員）とともにトークショーを実施。
- 2 月 12 日 特定非営利活動法人かなえ会主催「古道から学ぶ万葉集『紀路シリーズ』」で、竹本研究員が「紀路のあらましと巨勢・五條周辺の万葉歌」と題して講演。
- 2 月 14 日 奈良県ならの魅力創造課主催の「(仮称) 大古事記展」の企画会議に、井上研究員が出席。
- 2 月 15 日 東京日本橋の奈良まほろば館主催の「土曜イブニングセミナー」で、井上研究員が「万葉歌から日本の神話を考える②記紀・風土記の神と万葉歌」と題して講演。
- 2 月 16 日 東京日本橋の奈良まほろば館主催の「日曜モーニングセミナー」で、井上研究員が「はじめての古事記—命のはじまりの物語を読む—②生と死のはじまり」と題して講演。
- 2 月 19 日 橿原市ボランティアガイド研修会において、井上研究員が「万葉集に歌われた橿原・藤原の地」と題して講座。
- 2 月 21 日 奈良まほろばソムリエの会主催の万葉講座において、井上研究員が「万葉集にみる平城京」と題して講演。
- 2 月 22 日 万葉文化館ボランティア研修において、竹本研究員が「万葉集の基礎知識」と題して講義。  
徳島県立文学書道館の亀本美砂氏が来館。竹本研究員が館内を案内。
- 2 月 23 日 万葉文化館ボランティア研修の現地研修Ⅱにおいて、井上研究員と小倉技師が現地研修の講師をつとめる。
- 2 月 26 日 講座「万葉集をよむ」で、竹本研究員が「坂上郎女とその親族の宴（401～406 番歌）」を講義。
- 3 月 2 日 市辺地区まちづくり協議会主催の市辺れきし発見塾「万葉を味わう」（会場：市辺コミュニティセンター）において、小倉技師が「万葉びとの食文化」と題して講演。

- 3月7日 特定非営利活動法人奈良まほろばソムリエの会勉強会で、竹本研究員が「平城京遷都と万葉歌」と題して講演。
- 3月9日 三郷町主催の文学講座（会場：三郷町立図書館）において、井上研究員が「竜田の万葉歌」と題して講演。
- 3月12日 皇學館大学大島信生教授一行来館、井上研究員が館内を案内。  
特定非営利活動法人かなえ会主催「古道から学ぶ万葉集『紀路シリーズ』」で、竹本研究員が「探訪巨勢から今木へ」と題して、現地踏査の引率講師を務める。
- 3月13日 奈良県ならの魅力創造課主催の「(仮称)大古事記展」の企画会議に、井上研究員が出席。
- 3月15日 東京日本橋の奈良まほろば館主催の「土曜イブニングセミナー」で、井上研究員が「万葉歌から日本の神話を考える③歌と神話」と題して講演。
- 3月16日 東京日本橋の奈良まほろば館主催の「日曜モーニングセミナー」で、井上研究員が「はじめての古事記—命のはじまりの物語を読む—③太陽の神様と天の岩屋」と題して講演。
- 3月18日 『万葉古代学研究年報』第12号を発行。
- 3月19日 第7回委託共同研究「伎楽面・舞楽面・能面・狂言面の比較研究」(研究代表者：見市泰男氏・京都嵯峨芸術大学大学院非常勤講師／能面打師)の第8回共同研究会を開催。
- 3月20日 読売新聞社の記者が取材のため来館。井上研究員が対応。
- 3月21日 あべのハルカス美術館「東大寺展」内覧会に、稲村館長の随員として井上研究員が出席。
- 3月25日 奈良県「記紀・万葉プロジェクト」推進チーム会議に、井上研究員が出席。
- 3月26日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「『植える』ということ(407～414番歌)」を講義。
- 3月28日 奈良県ならの魅力創造課主催「(仮称)大古事記展」に関して、井上研究員が本居宣長記念館への出品交渉に同行。
- 3月29日 橿原考古学研究所室生埋蔵文化財センター開所式（会場：室生埋蔵文化財センター）に、稲村館長の随員として井上研究員が出席。
- 3月30日 第8回委託共同研究「日本列島の古代における音の超越性—祭祀芸能の比較研究と音楽・映像による実践的研究の視座から—」(研究代表者：福岡ユタカ氏／作・編曲家)の第3回共同研究会を開催。
- 3月31日 第8回委託共同研究「日本列島の古代における音の超越性—祭祀芸能の比較研究と音楽・映像による実践的研究の視座から—」(研究代表者：福岡ユタカ氏／作・編曲家)の第4回共同研究会を開催。
- 平成26年度
- 4月1日 小倉技師が主任研究員に就任（以下、小倉研究員と略す）。
- 4月2日 奈良県ならの魅力創造課主催の「(仮称)大古事記展」の企画会議に、井上研究員が出席。

- 4月9日 日本経済新聞社の記者が取材のため来館。井上研究員が対応。
- 4月11日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ—万葉文化論—」（第1回）を講義。
- 4月13日 美夫君志会（会場：中京大学）4月例会に、井上研究員が参加。
- 4月16日 ユネスコ「ESD（持続発展教育）の10年」歴史文化遺産人材育成会議（会場：奈良教育大学）に、井上研究員が出席。
- 4月17日 奈良県ならの魅力創造課主催の「（仮称）大古事記展」の企画会議に、井上研究員が出席。
- 4月18日 三郷町みさと万葉学習会主催の講座で、竹本研究員が「高橋虫麻呂と龍田の歌」と題して講演。  
奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ—万葉文化論—」（第2回）を講義。
- 4月19日 第108回友の会講座の「記紀万葉ウォーク⑩ ニュータウンで古代を想う」において、小倉研究員が引率講師をつとめる。
- 4月21日 文化庁・東京国立博物館・明日香村主催の「キトラ古墳壁画展」（東京国立博物館）内覧会に、稲村館長の随員として井上研究員が出席。
- 4月22日 明日香村主催の「飛鳥—2016—」展（東京国立博物館）関連イベントとして、井上研究員が、宮本亜門氏（演出家）、上野誠氏（奈良大学教授）とともにトークショーを実施。
- 4月24日 奈良県ファシリティマネジメント室からの依頼で、旧耳成高校の屋上庭園について企画案を検討。
- 4月25日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ—万葉文化論—」（第3回）を講義。
- 4月26日 歴史講座「大和歴史紀行」第1回で、竹本研究員が「忍阪から泊瀬・朝倉の万葉歌」と題して講演。
- 4月30日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「万葉挽歌と聖徳太子（415～419番歌）」を講義。  
奈良県教育委員会制作「なら教育レポート まなびだより」の取材に、小倉研究員が対応（5月14日奈良テレビにて放送）。  
特定非営利活動法人かなえ会主催「古道から学ぶ万葉集『紀路シリーズ』」で、竹本研究員が「紀の川筋の万葉歌—真土山・隅田八幡人物画像鏡銘・背山・妹山—」と題して講演。
- 5月2日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ—万葉文化論—」（第4回）を講義。
- 5月9日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ—万葉文化論—」（第5回）を講義。
- 5月10日 日本文学協会委員会（会場：中央大学）に、井上研究員が出席。
- 5月13日 奈良県ならの魅力創造課主催の「（仮称）大古事記展」の企画会議に、井上研究員が出席。
- 5月14日 古都飛鳥保存財団主催の「飛鳥版科挙」（飛鳥学冠位叙任試験）の問題作成

委員会に、井上研究員が出席。

特定非営利活動法人かなえ会主催「古道から学ぶ万葉集『紀路シリーズ』」で、竹本研究員が「探訪橋本周辺の歌碑めぐり—真土山と隅田八幡—」と題して、現地踏査の引率講師を務める。

- 5月15日 明日香村小委員会の館内視察において、竹本研究員が質問対応。
- 5月16日 三郷町教育委員会主催「平成26年度みさと万葉学習会」において、小倉研究員が「『万葉集』と竜田姫」と題して講演。  
奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ—万葉文化論—」（第6回）を講義。
- 5月17日 万葉文化館「万葉の装い」展において、小倉研究員が古代衣裳の展示を担当（会期：5月17日～7月13日）。
- 5月23日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ—万葉文化論—」（第7回）を講義。
- 5月24日 飛鳥ニューツーリズム主催「Let's share あすか」において、小倉研究員が、藤沢市立第一中学校の生徒を対象とした万葉ミニ講座の講師を務める。  
全国大学国語国文学会夏季大会（会場：フェリス女学院大学）に、井上研究員が参加。同委員会に出席。
- 5月25日 全国大学国語国文学会夏季大会（会場：神奈川近代文学館）に、井上研究員が参加。
- 5月27日 ブリストル会一行が来館し、井上研究員が館内講座の講師および館内案内を務める。
- 5月28日 講座「万葉集をよむ」で、竹本研究員が「石田王の挽歌（420～425番歌）」を講義。
- 5月30日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ—万葉文化論—」（第8回）を講義。
- 5月31日 第110回友の会講座の「記紀万葉ウォーク⑩ 古代史の舞台を歩く」で、井上研究員が引率講師を務める。
- 6月6日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ—万葉文化論—」（第9回）を講義。
- 6月8日 第23回万葉古代学東京講座で、井上研究員が「天宇受売と天照大神」と題して講演。第4回夕星講座として、竹本研究員が「『万葉集』巻1（9～12番歌）齊明天皇代②」について講義（いずれも会場は奈良まほろば館）。
- 6月10日 奈良県ならの魅力創造課主催「（仮称）大古事記展」に関して、井上研究員が春日大社での借受品熟覧に同行。
- 6月11日 奈良県ならの魅力創造課主催の「（仮称）大古事記展」の企画会議に、井上研究員が出席。
- 6月13日 歴史講座「大和歴史紀行」第2回で、竹本研究員が「金屋から三輪・檜原の万葉歌」と題して講演。  
奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ—万葉文化論—」（第10回）を講義。

平成 26 年度奈良県立大学シニアカレッジ国語（古典）特別講義（会場：奈良県立大学）において、小倉研究員が「『万葉集』と『源氏物語』」と題して講義。

- 6 月 14 日 東アジア比較文化国際会議日本支部大会（会場：大東文化大学）の理事会に、井上研究員が出席。
- 6 月 17 日 率川神社「三枝祭（ゆりまつり）」に、稲村館長の名代として井上研究員が出席。
- 6 月 20 日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ—万葉文化論—」（第 11 回）を講義。
- 6 月 21 日 桜井市立図書館教養講座で、竹本研究員が「長屋王と三輪」と題して講演。
- 6 月 22 日 古事記学会全国大会（会場：島根県立大学短期大学部）において、井上研究員が「天石屋戸神話における『内告』—天照大御神と天宇受売との関係—」と題して研究発表。
- 6 月 25 日 講座「万葉集をよむ」で、小倉研究員が「火葬があたえた影響（426～430 番歌）」を講義。
- 6 月 27 日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ—万葉文化論—」（第 12 回）を講義。
- 6 月 30 日 奈良県視覚障害者センター主催の講座（会場：視覚障害者センター）で、井上研究員が「はじめての古事記」と題して講演。
- 7 月 1 日 橋本きもの学院月例会（会場：万葉文化館）において、小倉研究員が展示案内。奈良県ならの魅力創造課主催「（仮称）大古事記展」に関して、井上研究員が長尾神社への出品交渉に同行。
- 7 月 4 日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ—万葉文化論—」（第 13 回）を講義。
- 7 月 5 日 美夫君志会全国大会（会場：中京大学）の常任理事会および理事会に、井上研究員が出席。
- 7 月 6 日 美夫君志会全国大会（会場：中京大学）の常任理事会に、井上研究員が参加。
- 7 月 9 日 奈良県ならの魅力創造課主催「（仮称）大古事記展」に関して、井上研究員が談山神社への出品交渉に同行。
- 7 月 10 日 奈良県立大学シニアカレッジ特別講義で、竹本研究員が「東アジアと古代日本—推古朝の外交と内政—」と題して講演。  
桜井市観光協会主催の講座（会場：桜井市立図書館）で、井上研究員が「こもりくの泊瀬」と題して講演。
- 7 月 11 日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ—万葉文化論—」（第 14 回）を講義。
- 7 月 12 日 桜井市立図書館主催の第 2 回図書館教養講座（会場：桜井市立図書館）において、小倉研究員が「大和三山と歌の力」と題して講演。
- 7 月 17 日 奈良県「記紀・万葉プロジェクト」推進チーム会議に、井上研究員が出席。
- 7 月 18 日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ—万葉文化論—」（第 15 回）を実施。
- 7 月 20 日 第 24 回万葉古代学東京講座で、竹本研究員が「雷丘の上にあるもの」と題

- して講演。第5回夕星講座として、小倉研究員が『万葉集』巻1(13～15番歌) 齊明天皇代③について講義(いずれも会場は奈良まほろば館)。
- 7月21日 東アジア儀礼文化研究会(会場:國學院大學)において、小倉研究員が「日本古代における諒闇・心喪の成立と展開」と題して研究発表。
- 7月23日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「伝説の美女(431～437番歌)」を講義。
- 7月26日 國學院大學主催の古典文学公開講演会(会場:國學院大學渋谷キャンパス)で、井上研究員が「万葉の冬—冬の雑歌と相聞を読む—」と題して講演。
- 7月27日 夏休み子ども万葉教室で、小倉研究員が「折り紙で人形作り♪」(にぎわいフェスタ万葉夏)の講師をつとめる。
- 7月31日 奈良県ならの魅力創造課主催「(仮称)大古事記展」に関して、奈良県立美術館で井上研究員が出展品熟覧および打ち合わせ。  
ユネスコ「ESD(持続発展教育)の10年」歴史文化遺産人材育成奈良会議に、井上研究員が参加。
- 8月1日 夏休み子ども万葉教室で、小倉研究員が「折り紙で人形作り♪」(にぎわいフェスタ万葉夏)の講師をつとめる。  
奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義I—万葉文化論—」(前期試験)を実施。
- 8月2日 夏休み子ども万葉教室で、小倉研究員が「折り紙で人形作り♪」(にぎわいフェスタ万葉夏)の講師をつとめる。  
桜井市立図書館主催の文学講座(会場:桜井市立図書館)において、井上研究員が「但馬皇女と穗積皇子」と題して講義。
- 8月6日 宮崎県稲用博美副知事一行が視察来館し、井上研究員が館内を案内。
- 8月7日 奈良県ならの魅力創造課主催の「(仮称)大古事記展」の企画会議に、井上研究員が出席。
- 8月10日 第25回万葉古代学東京講座で、小倉研究員が「万葉歌の図像」と題して講演。第6回夕星講座として、井上研究員が『万葉集』巻1(16～19番歌)天智天皇代①について講義(いずれも会場は奈良まほろば館)。
- 8月17日 夏休み子ども万葉教室「世界に1枚だけのお金づくり」(にぎわいフェスタ万葉夏)で、竹本研究員が飛鳥池工房遺跡と富本銭について解説。  
市辺地区まちづくり協議会主催の市辺れきし発見塾「市辺万葉子ども塾」(会場:市辺コミュニティセンター)において、小倉研究員が「折り紙をつかって素敵なおうちをつくらう!」の講師をつとめる。
- 8月22日 古都飛鳥保存財団主催の「飛鳥版科挙」(飛鳥学冠位叙任試験)の問題作成委員会に、井上研究員が出席。
- 8月24日 飛鳥古京を守る議員連盟明日香村現地視察の館内視察において、竹本研究員が質問対応。
- 8月27日 講座「万葉集をよむ」で、竹本研究員が「大伴旅人と長屋王の挽歌(438～442番歌)」を講義。  
奈良県ならの魅力創造課主催の「大古事記展」の企画会議(会場:奈良県庁)

- に、井上研究員が出席。
- 8月30・31日 奈良女子大学古代学学術研究センターと共催で、2014年度若手研究者支援研修プログラム「和歌と物語—『萬葉集』を中心として—」を開催。30日に万葉文化館企画展示室において、公開講演会を実施。奥村和美氏（奈良女子大学教授）が「『松浦宮物語』と『萬葉集』」と題して、村田右富実氏（大阪府立大学教授）が「伝説の容器としての韻文—歌は語れるのか—」と題してそれぞれ講演。31日には、奈良女子大学において万葉語学文学研究会共催の研究発表会が実施された。
- 9月2日 専修大学岩下武彦教授一行が来館し、井上研究員が館内を案内。和泉市いずみの国歴史館において、竹本研究員が羅漢寺の大般若経を調査。
- 9月6日 近鉄大和文化会主催の講演会（会場：銀座プロッサム）において、井上研究員が「万葉の恋歌は現代に通じるか—1300年前への旅—」と題して講演。
- 9月11日 明日香村文化協会主催「万葉植物講座Ⅰ」において、小倉研究員が講師をつとめる。高知県立文学館館長元吉喜志男氏らが来館し、小倉研究員が館内を案内。
- 9月12日 歴史講座「大和歴史紀行」第3回で、竹本研究員が「蘇我をどう考えるか」と題して講演。
- 9月14日 大淀町教育委員会主催の「大淀町能楽ワークショップ 面があれば裏があるPART4」（会場：大淀町あらかしホール）において、井上研究員が「能楽と吉野」と題して講義し、大倉源次郎氏（能楽小鼓方大蔵流宗家）と対談し、能楽ワークショップにも参加。
- 9月18日 奈良県ならの魅力創造課主催の「(仮称)大古事記展」の企画会議に、井上研究員が出席。
- 9月19日 ナツメ出版株式会社、株式会社童夢ほか取材のため来館し、井上研究員が対応および館内案内。奈良市立都跡小学校第5学年特別授業において、小倉研究員が講師をつとめる。
- 9月20日 第11回公開シンポジウム「仮面が語る芸能の世界」を開催。研究代表者・見市泰男氏（能面打・京都嵯峨芸術大学大学院非常勤講師）らによる、第7回委託共同研究「伎楽面・舞楽面・能面・狂言面の比較研究」（平成24・25年度実施）の成果報告として実施。稲村和子万葉文化館長による開催挨拶の後、基調報告として「伎楽面・舞楽面・能面・狂言面の比較研究」見市泰男氏、「大和の村落祭祀と能—大和猿楽の根源を探る—」宮本圭造氏（法政大学教授）、「能と能面」大谷節子氏（神戸女子大学教授）、「仮面をつけない芸」鈴鹿千代乃氏（神戸女子大学教授）が報告された。その後、藤原千沙氏（能面打）が司会を務め、上記メンバーによるシンポジウムが実施された。
- 9月21日 第5回主宰共同研究「海外における記紀万葉の受容に関する比較研究—翻訳にあらわれる日本文学の特色について—」の第1回共同研究会を開催。第5回主宰共同研究「海外における記紀万葉の受容に関する比較研究—翻

- 訳にあらわれる日本文学の特徴について」の第2回共同研究会を開催。
- 9月24日 講座「万葉集をよむ」で、小倉研究員が「ある官人の最期（443～445番歌）」を講義。  
奈良県・株式会社ワコールアートセンター共催のトークショー「太安万侶から現代のアーティストへ！つながる『想像』と『創造』のリレー」（会場：スパイラルホール）において、井上研究員が鈴木芳雄氏（編集者・美術ジャーナリスト）と対談。
- 9月26日 古都飛鳥保存財団主催の「飛鳥版科挙」（飛鳥学冠位叙任試験）の問題作成委員会に、井上研究員が出席。
- 9月29日 ユネスコ「ESD（持続発展教育）の10年」歴史文化遺産人材育成奈良会議のワーキンググループ会議（会場：奈良教育大学）に、井上研究員が参加。
- 10月2日 財団法人フェニックス大学主催の特別講座（会場：郡山ホール）において、井上研究員が「女性が拓いた奈良」と題して講演。
- 10月5日 宮崎県主催のふるさとリレー講座（会場：カルチャープラザのべおか）において、井上研究員が「日向と大和一万葉歌の中の神話―」を講演予定も、台風により延期（開催日程未定）。
- 10月8日 特定非営利活動法人かなえ会主催「古道から学ぶ万葉集『紀路シリーズ』」で、竹本研究員が「加太・和歌の浦の万葉歌」と題して講演。
- 10月15日 長岡市長の館内視察において、竹本研究員が案内。
- 10月16日 「大古事記展」展示作業に、井上研究員が参加。
- 10月17日 奈良県・朝日新聞社主催の「大古事記展」（会場：奈良県立美術館）の開会式および内覧会を実施。井上研究員がスタッフとして参加。
- 10月19日～21日 第8回委託共同研究「日本列島の古代における音の超越性―祭祀芸能の比較研究と音楽・映像による実践的研究の視座から―」（研究代表者：福岡ユタカ氏／作・編曲家）の沖縄県宮古島市伊良部島のユークイ調査に、井上研究員が同行。
- 10月22日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「妻への思い―大伴旅人の場合―（446～453番歌）」を講義。
- 10月26日 第113回友の会講座の「記紀万葉ウォーク⑬ 大和川に沿って河内へ」で、竹本研究員が引率講師を務める。
- 10月28日 奈良県花き植木農業協同組合主催の研修会（会場：万葉文化館）において、小倉研究員が「『万葉集』と花」と題して講演。  
ユネスコ「ESD（持続発展教育）の10年」歴史文化遺産人材育成奈良会議のワーキンググループ会議（会場：万葉文化館）に、井上研究員が参加。
- 10月29日 特定非営利活動法人かなえ会主催「古道から学ぶ万葉集『紀路シリーズ』」で、竹本研究員が「探訪和歌の浦周辺の歌碑めぐり」と題して、現地踏査の引率講師を務める。
- 10月31日 万葉文化館地下1階にて、「大和国細見図」と「振動発電®」を用いた「古地図展示パネル」を展示。
- 11月1日 見市泰男氏（能面打・京都嵯峨芸術大学大学院非常勤講師）および藤原千



- 沙氏（能面打）による特別講演会「仮面が語る芸能の世界」を実施。  
万葉文化館地下1階にて、公開シンポジウム関連企画展「仮面が語る芸能の世界」を開催（会期：11月1日～11月24日）
- 11月2日 第59回万葉古代学講座として、井上研究員が「『古事記』の1300年」と題して講演。
- 11月6日 パナソニック株式会社の視察において、竹本研究員が万葉庭園と復原遺構を案内。
- 11月8日 小燕会主催「小燕会書展」の記念講演会（会場：万葉文化館）において、井上研究員が「万葉の里・明日香風」と題して講演。
- 11月11日 奈良芸術短期大学主催の「明日香学講座」（会場：奈良芸術短期大学）で、井上研究員が「明日香（飛鳥）と万葉集（1）」を講義。
- 11月12日 平成26年度奈良県立大学シニアカレッジの国語（国語総合）特別講義（会場：奈良県立大学）において、小倉研究員が「『万葉集』と『源氏物語』」と題して講義。
- 11月13日 成城大学民俗学研究所において、井上研究員が文献調査。
- 11月14日 東京古典会主催の「大入札会下見展観」に、井上研究員が参加。
- 11月15日 天皇皇后両陛下が万葉文化館へ行幸啓。
- 11月16日 奈良県・朝日新聞社主催の「大古事記展」関連講座（会場：奈良県立美術館）として、井上研究員が「『古事記』はどう読まれてきたか」と題して講演。
- 11月17日 奈良県・朝日新聞社主催「大古事記展」の後期展示替えを実施。井上研究員が参加。
- 11月18日 奈良芸術短期大学主催の「明日香学講座」（会場：奈良芸術短期大学）で、井上研究員が「明日香（飛鳥）と万葉集（2）」を講義。
- 11月19日 講座「万葉集をよむ」で、竹本研究員が「資人余明軍と旅人（454～459番歌）」を講義。  
奈良県立大学主催の「やまとまほろば学」（会場：奈良県立大学）で、井上研究員が「はじめての古事記—奈良の古代文化—」を講義。
- 11月21日 『マンガ万葉集』（平成27年春刊行予定）の編集会議（会場：株式会社ナツメ社）に、井上研究員が参加。
- 11月22日 第114回友の会講座「記紀万葉ウォーク<sup>⑭</sup> バスツアー万葉・伊勢のうた」で、竹本研究員が引率講師を務める。  
京都府城陽市東部コミュニティーセンター主催の文学講座（会場：城陽市東部コミュニティーセンター）において、井上研究員が「はじめての『古事記』—山代国を中心に—」と題して講演。
- 11月23日 万葉文化館庭園にて、公開シンポジウム関連事業「伎楽公演」（協力：天理大学雅楽部）を実施。
- 11月24日 第58回万葉古代学講座として、小倉研究員が「『藤衣』考」と題して講演。（10月13日実施予定のところ、台風のため延期）
- 11月27日 桜井記紀万葉歌碑原書展実行委員会主催「桜井記紀万葉歌碑原書展—昭和の文人が愛した神なびの郷—」の「万葉講演会」（会場：あべのハルカスアート館）において、井上研究員が「奈良時代の桜井市—万葉歌碑から—」と

- 題して講演。
- 11月28日 「第4回NARA万葉世界賞」審査会および座談会（会場：山の上ホテル）を実施。井上研究員が事務局の一員として同行。
- 11月30日 奈良大学・古都飛鳥保存財団連携ウォークイベント「記紀万葉“藤原京を歩く”」において、井上研究員が、上野誠氏（奈良大学教授）とともに引率講師を務める。
- 12月4日 兵庫県生きがい創造協会主催の兵庫県いなみ野学園大学院総合文化学科2年講座（会場：兵庫県いなみ野学園）において、小倉研究員が「万葉の植物文化」と題して講義。
- 12月9日 『マンガ万葉集』（平成27年春刊行予定）の編集会議（会場：株式会社ナツメ社）に、井上研究員が参加。
- 12月13日 東アジア儀礼文化研究会シンポジウム「東アジア儀礼文化の実相と展開―「大唐元陵儀注」の可能性―」（会場：東京大学史料編纂所）において、小倉研究員が「日本史学における『大唐元陵儀注』の活用と展望」と題して報告。
- 12月14日 美夫君志会12月例会（会場：中京大学八事キャンパス）において、井上研究員が「古代の匠たち」と題して研究発表。
- 12月17日 講座「万葉集をよむ」で、小倉研究員が「歌の贈答と弔問（460～461番歌）」を講義。
- 12月19日 古都飛鳥保存財団主催の「飛鳥版科学」（飛鳥学冠位叙任試験）の問題作成委員会に、井上研究員が出席。
- 12月23日 同志社大学創造経済研究センター主催の「今に生きる万葉―額田王～音楽と語りによる創作ステージ～」において、井上研究員が、八木匡氏（同志社大学経済学部教授・ライフリスク研究センター所長）、垣見修司氏（同志社大学文学部准教授）とともに「万葉集の現代的創造」と題してシンポジウムを実施。

※肩書き・題目などは、すべて当時のもの。

◆専任研究員のおもな業績（平成 26 年 2 月～平成 26 年 12 月）

井上 さやか

[研究論文]

- 「飛鳥の宮処とカムナビ山」（『万葉古代学研究所年報』12号）平成26年3月
- 「万葉文化館蔵『大和名處和歌集』について―飛鳥を中心に―」（同上）

[評論など]

- 「万葉歌と神話」（『日本文学』732号、日本文学協会）平成26年6月
- 「『古事記』の一三〇〇年―国宝からマンガまで―」（奈良県立美術館特別展「語り継ぐココロとコトバ 大古事記展―五感で味わう、愛と創造の物語」図録）平成26年10月
- 「筋違道と『万葉集』」（『季刊 明日香風』132号、公益財団法人古都飛鳥保存財団）平成26年10月

[研究発表]

- 「天石屋戸神話における「内告」―天照大御神と天宇受売との関係―」（古事記学会全国大会）平成26年6月
- 「古代の匠たち」（美夫君志会12月例会）平成26年12月

[その他]

- 「特集 桜の聖地を巡る」万葉歌インタビュー（『naranto』2014年春夏号、エヌ・アイ・プランニング）、平成26年2月
- 「おすすめ万葉歌」（『よろずは』平成26年2月）
- 「はじめての万葉集 vol.1 カキツバタの咲く佐紀」（『県民だより奈良』2014年5月号〔第335号〕、奈良県広報広聴課）、平成26年5月
- 「おすすめ万葉歌」（『よろずは』平成26年5月）
- 「はじめての万葉集 vol.4 石上布留の神杉」（『県民だより奈良』2014年8月号〔第338号〕、奈良県広報広聴課）、平成26年8月
- 「おすすめ万葉歌」（『よろずは』平成26年8月）
- 「大東家本『皇年代記』」ほか10項目解説執筆、『古事記』関連項目解説文監修（奈良県立美術館特別展「語り継ぐココロとコトバ 大古事記展―五感で味わう、愛と創造の物語」図録）平成26年10月
- 「はじめての万葉集 vol.7 紅葉と時雨」（『県民だより奈良』2014年11月号〔第341号〕、奈良県広報広聴課）、平成26年11月
- 「おすすめ万葉歌」（『よろずは』平成26年11月）
- 「万葉歌の魅力をさぐる（32） 佳人薄命」（『天飛ぶ』第40号、万葉文化館友の会）、平成26年12月

竹本 晃

[研究論文]

- 「「あきはぎ木簡」の釈読について」(「万葉古代学研究年報」12号)、平成26年3月
- 「雷岳の或本歌—皇子の殯宮—」(同上)

[その他]

- 「はじめての古事記 第10話 忍熊王の反乱」(「県民だより奈良」2014年2月号〔第332号〕、奈良県広報広聴課)、平成26年2月
- 「はじめての古事記 第11話 すさまじき石之日売命の嫉妬」(「県民だより奈良」2014年3月号〔第333号〕、奈良県広報広聴課)、平成26年3月
- 「記紀万葉の故地7」(「よろずは」平成26年4月)
- 「はじめての古事記 第12話 すさまじき石之日売命の嫉妬」(「県民だより奈良」2014年4月号〔第334号〕、奈良県広報広聴課)、平成26年4月
- 「はじめての万葉集 vol.3 檜と言えは…」(「県民だより奈良」2014年7月号〔第337号〕、奈良県広報広聴課)、平成26年7月
- 「記紀万葉の故地8」(「よろずは」平成26年7月)
- 「万葉歌の魅力をさぐる(31) 淡路と言えは、野島の海人」(「天飛ぶ」第39号、万葉文化館友の会)、平成26年7月
- 「はじめての万葉集 vol.6 稲穂のかた寄り」(「県民だより奈良」2014年10月号〔第340号〕、奈良県広報広聴課)、平成26年10月
- 「記紀万葉の故地9」(「よろずは」平成26年10月)

小倉久美子

[研究論文]

- 「飛鳥・奈良時代における紫色の特質」(「万葉古代学研究年報」第12号)、平成26年3月
- 「飛鳥川の系譜」(同上)

[研究発表]

- 「日本古代における諒闇・心喪の成立と展開」(東アジア儀礼文化研究会)、平成26年7月
- 「日本史学における「大唐元陵儀注」の活用と展望」(東アジア儀礼文化研究会シンポジウム「東アジア儀礼文化の実相と展開—「大唐元陵儀注」の可能性—)、平成26年12月

[その他]

- 「万葉歌の魅力をさぐる(30) 紅の花」(「天飛ぶ」第38号、万葉文化館友の会)、平成26年3月

- 「歌碑めぐり 7」(「よろずは」平成 26 年 3 月号)
- 「はじめての万葉集 vol.2 吉野に生える久木」(「県民だより奈良」2014 年 6 月号〔第 336 号〕、奈良県広報広聴課)、平成 26 年 6 月
- 「歌碑めぐり 8」(「よろずは」平成 26 年 6 月号)
- 「はじめての万葉集 vol.5 明日香のハギ」(「県民だより奈良」2014 年 9 月号〔第 339 号〕、奈良県広報広聴課)、平成 26 年 9 月
- 「歌碑めぐり 9」(「よろずは」平成 26 年 9 月号)
- 「はじめての万葉集 vol.8 つらつら椿」(「県民だより奈良」2014 年 12 月号〔第 342 号〕、奈良県広報広聴課)、平成 26 年 12 月
- 「歌碑めぐり 10」(「よろずは」平成 26 年 12 月号)

## 万葉文化館 顧問・客員研究員・研究協力員一覧

(平成 27 年 1 月現在)

### (1) 研究顧問

寺川眞知夫 (元万葉古代学研究所長)  
上野 誠 (元万葉古代学研究所副所長)

### (2) 客員研究員

坂本 信幸 (元奈良女子大学大学院教授・高岡市万葉歴史館館長)  
菅谷 文則 (奈良県立橿原考古学研究所長)  
千田 稔 (奈良県立図書情報館長)  
辰巳 和弘 (元同志社大学教授)  
田辺 征夫 (元奈良文化財研究所長・奈良県立大学特任教授)  
湯山 賢一 (奈良国立博物館長)  
和田 萃 (京都教育大学名誉教授)  
影山 尚之 (武庫川女子大学教授)

### (3) 共同研究員

主宰共同研究員

加藤 耕義 (学習院大学外国語教育センター教授)  
Jason WEBB (南カリフォルニア大学准教授)  
曹 咏梅 (元万葉古代学研究所研究員・神奈川大学非常勤講師)

委託共同研究員

福岡 豊 (作・編曲家)  
横川 理彦 (美学校講師)  
春日 聡 (多摩美術大学非常勤講師)

### (4) 名誉研究員

寺川眞知夫 (元万葉古代学研究所長・同志社女子大学名誉教授)  
上野 誠 (元万葉古代学研究所副所長・奈良大学教授)  
松尾 光 (元万葉古代学研究所副所長・早稲田大学非常勤講師)

### (5) 研究協力員

松田 信彦 (元万葉古代学研究所主任研究員・鹿児島工業高等専門学校教授)  
西地 貴子 (元万葉古代学研究所研究員・福岡女学院大学非常勤講師)  
大館 真晴 (元万葉古代学研究所主任研究員・宮崎県立看護大学准教授)  
吉原 啓 (元万葉古代学研究所研究員・大田原市なす風土記の丘湯津上資料館学芸員)  
曹 咏梅 (元万葉古代学研究所研究員・神奈川大学非常勤講師)  
垣見 修司 (元万葉古代学研究所職員・同志社大学准教授)